

お勧めの本「余命1ヶ月の花嫁」

マネジメント総合学科2年 佐宗 直樹

これを読み終わって最初の感想は、自分が普通に生きている一日は誰かが必死に生きようとしている一日なんだと強く感じたことでした。一日をこんなに苦労して生きている人達がいるんだと再確認させられました。

普通の日々がこの人達には必死だったわけですが、テレビで流れている情報を見ても他人事であったり、また自分には関係ない、との思いはどこかにあるはず。今の社会は人の死に対して余りにも関心が無過ぎると感じざるを得ません。これはこの人だけでは無く、今現在この日本のどこかでがんと戦っている人がある事を知らせるものになったと思います。

実際に千恵さん自身も取材を受ける上で「同じ若い人に」と書いています。つまり、これは多くの「自分には関係ないと思っている人」に知らせるためのものなのです。

大きな反響を呼んだため、逆にこれを「珍しい」と人が感じてしまうこと。知っていたけど本当の意味では知らなかったという人が多いということ。「珍しい」ために映像が流され、テレビや本などで紹介された事。しかし、珍しくはあっても決してこの様な事が全く無いわけではありません。

日本では悲劇的な愛が好まれるのはよく言われますが、自分も含めこの嗜好が日本の黙認知的な考え方の典型的な例であり、もっと現実を知ることも大切だと考えさせられました。

がんと戦うのは千恵さん自身ではありませんでしたが、この作品では他者との繋がりが重要なキーとなっています。千恵さんのお父さん、彼氏(夫)、叔母さん、友人など多くの人達の千恵さんへの想いとでもいうべきものが千恵さんに届き、またそれを千恵さん自身がこの様な状態になって初めて気づいたこと。

それがこの作品の一番良いところでした。

作品では千恵さんが一度がんになり、治ったと思ったその矢先に再発し闘病がはじまります。

闘病生活について、千恵さんの「病気に負けたくない」という気持ちを強く感じる場所が多くあり、生きたいと思う気持ちが感じられる一方で、本の中で千恵さんが「生きていますよ」という言葉を書いている事が印象的でした。

これは一度目のがんを取るときに千恵さんがブログに書いた言葉で、僕には千恵さん自身がここですでに自分のがんに対する考えを持っていたように思えます。

「生きています」という言葉は自分を知っている人に安心を与える言葉です。ここでは「治る」や「治した」といったことは書かれていません。ただ自分の周りの人への感謝が載っているだけで、自分の回復については触れていない。

この理由が自分には最初分かりませんでした。千恵さん自身が「頑張る」などの言葉を多く使っている事から、闘病への意思を表明することで他者への励ましとするためだったのでは無いのかと解釈しました。

人の気持ちは難しいものです。それを全て素直に感じる事が出来るとしたら日々生活してこの上なく幸福なことです。今の世の中でそれを感じることは難しいと思います。大人でさえ素直であることが好まれない世の中では、他者とのコミュニケーションのとり方を子供が学ぶ機会は少なくなってきていると思います。

自分は自分、という個人主義が良いと言う人がいます。自分も近い考えを持っていましたが、この本を読んで自分が一人で生きている訳ではないのだと考えさせられました。

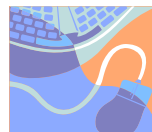
身近にいる人、親、友人、先生方などその様な人々との関わりこそが自分の本当の財産であることを教えてくれて、自分中心主義の様な考えが根本から覆される本でした。

他者に対しての何かが変わる、優しくなれる作品なので是非読んでほしいと思います。

ご紹介いただきました「余命1ヶ月の花嫁」は開架図書(2階) 916//Tbにあります。



おさらい・PCスキル



オフィスに限らず、学習の場でも使わざるを得ない存在となったパソコン(PC)。インターネット利用の人口普及率が75.3%(平成20年末時点:「情報通信白書 平成21年版/総務省」より*)と、いまや家庭でも珍しくないものと言えましょう。

そのおかげが、PCの使用は文字入力以外ならば(ときには文字入力も)マウスだけでこなせるようになりました。

…が、しかし。皆さん「ショートカットキー」というのをご存知でしょうか。電話で言えば短縮ダイヤルみたいなもので、知っておくとマウスを使わず、ほとんどキーボードから手を離すことなく作業が済むようになります。

是非この機会に覚えて、PCのスキルアップを図ってみませんか？

今さら訊けないショートカットキー

【学内PCで利用されているWindows・MS-IMEについて取り上げています】

作業	ショートカットキー	割り当て	実行例、補足説明
文字入力	n + n ☆	「ん」	i <u>nn</u> ta-netto → インターネット
	(例) t + t ☆	小さい「つ」	i <u>nn</u> ta-netto → インターネット 小さい「つ」の後にくる文字の子音を二つ重ねると、その前に自動で小さい「つ」が挿入されます。
	x (エックス)+~ または i (イル)+~☆	小さい仮名	u <u>x</u> ebu → ウェブ
	Shift + →(矢印キ)	変換(選択)範囲の変更	<u>序</u> うさいだいがく → <u>城</u> 西だいがく
	F7	全角カタカナ変換	しよーと <u>か</u> つと → ショートカット
編集	Ctrl + X	選択範囲の切り取り	文字に限らず、画像などでも使用できる場合が多いショートカットです。
	Ctrl + C	選択範囲のコピー	
	Ctrl + V	選択範囲のペースト(貼付)	
Windows操作	Windows + M	全ウィンドウの最小化	デスクトップを見たいときなどに便利です。
	Alt + Tab	ウィンドウの切り替え	例えば①Wordと②Excel 両者を開いている場合 ①⇄②の切り替えが可能です。 (3つ以上のウィンドウでも可)

☆印のものはショートカットとは異なりますが、覚えておきたいキー操作として掲載しておきました。

※総務省「情報通信白書」⇒<http://www.soumu.go.jp/johotsusintokei/whitepaper/index.html>

全学対象アンケートを実施します

図書館では皆様の意見をお聞きして、今後の運営に役立てるため全学対象アンケートを実施します。図書館をいつもご利用になっている方、あまり利用されていない方もぜひご意見をお聞かせください。全学対象アンケートは城西大学ホームページ (<http://www.josai.ac.jp/>) より、学習支援 → 学習教育支援システム (WebClass) へとアクセスして「図書館アンケート」をお選びください。設問は30ほどで、回答所要時間は約10分です。

図書館のPCが新型になりました

新端末は処理速度の大幅な向上に加えて、インストールされているソフトウェアも Office2007 など最新のものに変わり、皆様の学習を強力にバックアップします。

またプリンターも新型になりましたので、今までのものよりも pdf やパワーポイントの印刷が速くなり、お待たせする時間がずっと少なくなりました。ぜひご活用ください。

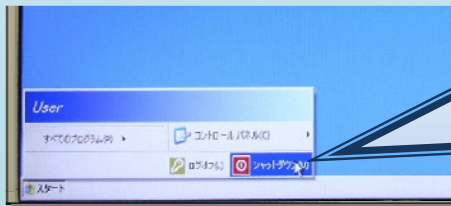


※注意点※

新しいシンクライアント端末（1階と3階にある小さな端末）は、電源を切るために2段階の操作が必要です。

最初にログオフするといったん何も映らない画面になりますので、その画面でもう一度「シャットダウン」をしてください。

お手間をかけますが、セキュリティ向上のための処置ですのでご協力をお願いします。



今月のお勧め図書

☆辞書を知る / 国立国語研究所編集 ぎょうせい 開架図書(2階) 813//Ko49

☆軍師の門 上・下 / 火坂雅志著 角川学芸出版 開架図書(2階) 913.6//H76//1,2

☆幼児期と社会 1, 2 / E.H.エリクソン 著 ; 仁科弥生訳 みすず書房 シラバスコーナー(3階)
371.45//E67//武山

☆文明崩壊 : 滅亡と存続の命運を分けるもの 上・下 / ジャレド・ダイヤモンド著 ; 楡井浩一訳
草思社 開架図書(3階) 204//D71//1,2

☆ドラッグストアへようこそ : 田舎薬剤師の接客日誌 / 矢沢久豊著 ほおずき書籍
開架図書(3階) 499.04//Y67

日経テレコン21の講習会が開催されました

10月26日に日経テレコン21の講習会が開催されました。

日経テレコン21は日経新聞社のデータベースで、主要な日経4紙のほか、地方紙や企業の人事情報なども検索できます。

例えば企業を探す場合に「県内」で「販売業」ある程度の売り上げを維持している会社を希望するなら「売上金額」といったキーワードで検索すれば条件に合致した企業を探し当てることができますし、希望の就職先を絞り込むのにも役に立ちます。

今回はより実用的な内容を中心として、実際にコンピュータを使った演習をしながら、レポートや卒論作成への活用方法、就職活動への活用方法についての講習が行われました。

なお、日経テレコン21にはIDとパスワードが必要になりますので、利用される場合は図書館1階カウンターにてお申し込みください。



月替わり図書館企画 「浮世絵の世界」



城西大学には水田コレクションという浮世絵のコレクションがあります。

その数は百余点にのぼり、東洲斎写楽、喜多川歌麿、葛飾北斎といった浮世絵の名匠たちの貴重な作品を数多く所蔵しています。(水田コレクションは図書館8階の「水田美術館」で入学式、卒業式、学園祭時のみ一般公開されます)

浮世絵は、その美しい色づかいから世界的にも高い評価を得ている絵画ですが、美術的な価値のみならず江戸当時の風俗を知ることができる貴重な資料でもあります。

特に大衆画として広く普及した木版画は、当時の世相や人気の役者、名所などを生き生きと描き出し、広く民衆に愛されました。

また、浮世絵は当時の印象派にも大きな影響を与えています。写実的な画法が主流だった当時の西洋美術界にとって、浮世絵の平面的にディフォルメされた描画技法、鮮烈な色使い、遠近の中心を画面中央以外の部分に置くことによるダイナミックな構成など、その発想の柔軟さはまさに衝撃でした。

浮世絵はしばしば当時の巨匠たちのモチーフとなり、ゴッホやマネといった印象派画家の代表的な作品にその影響を見て取ることができます。

今回の展示では水田三喜男コレクションのカatalogのほか、著名な浮世絵師の画集を紹介しています。さらに、関連分野として印象派画家の画集を併設して展示しました。

身近なようで奥の深い浮世絵の世界をぜひご堪能ください。

参考文献 岩波新書 浮世絵：カラー版：大久保純一著 開架図書(1階 文庫本コーナー) 721.8/054

近代美術2(印象派と世紀末の美術)：高階秀爾編 開架図書(2階 大型本コーナー) 708/Ta22/19

風俗画と浮世絵師：山根有三[ほか]著 開架図書(2階 大型本コーナー) 708//G34//18

